

【礼拝賛美】大いなる方に

(★↓★↓の順で歌う)

★大いなる方に 感謝ささげます
御子キリストの 愛のゆえに
聖なる方に 感謝ささげます
御子キリストの 愛のゆえに
今 弱い者よ 叫べ 勇士だと
勝利の主が 共におられる
今 貧しい者よ 叫べ富んでいると
恵みの主が 共におられる
(★くりかえし)

※感謝します

・今週土曜日7日は、有志ボランティアによる無料食品配布の活動がシオン館で行われます。お祈りください。

【外部集会のご案内】

第38回JHA聖化大会

日程 10/16(月)～17(火)

会場 インマヌエル中目黒教会

〔16日(月)〕

15時～セミナー 小平牧生師

19時～聖会I 小平牧生師

〔17日(火)〕

13時半～女性大会 矢木良雄師

19時～聖会II 千代崎備道師

主講師の小平牧生師(基督兄弟団)はシオン霊修会(第54回・2011年)に、矢木良雄師は新年聖会(2013年)にお迎えしました。千代崎備道先生は、お父様の千代崎秀雄師をかつて霊修会(第27回・1984年)でお迎えしました。

もし彼があなたに何か損害を与えたか、負債を負っているなら、その請求は私にしてください。私パウロが自分の手で、「私が償います」と書いてい
ます。
ピレモンへの手紙17、18節

オネシモは、主人ピレモンの財産を盗んで逃げだしたところ、逃亡先のローマでパウロに出会い回心へと導かれました。パウロはオネシモを主人のもとに送り返すため、執り成しのためにこの手紙を書きました。注目したいのは執り成し手となったパウロです。パウロはオネシモを悔い改めに導き、自分のそば近くに置いて指導しました(10)。その結果、オネシモは自らの罪を悔い改め、パウロをして「役に立つ者(11)」と言わしめるほどに成長しました。さらにパウロは、ピレモンとオネシモが和解し、オネシモが教会に受け入れられるよう計らい、そのためオネシモの負債を負いました。

聖書は、この手紙を受け取ったピレモンとオネシモがその後どうなったかを記しません。それは書くまでもないということでしょう。オネシモはのちにエペソ教会の監督を務めたと伝えられます。福音宣教に奔走した彼は、その両足を砕かれて殉教するまで主と教会に仕えたそうです。もし彼がパウロと出会っていなかったら、その生涯は全く違っていかもしれません。福音は人を変えます。しかし、その福音を言葉と行い、その人生をもって証しする人が必要です。

先日の日本伝道会議で、何人かのスピーカーが次世代に福音が届いていない理由として挙げたのは、「若者たちが手本とする大人がいない」ということです。耳が痛い、非常に厳しい言葉です。けれども、私たちは遜って自らを省みなければなりません。大事なことは方法やハウツーではありません。福音に生きる「人」なのです。もう一つ言われたのは、「教会で大人が癒やされなければ、青年は教会に來ない。大人が癒やされる姿を見ることで青年たちはそこに希望を見出す」ということです。福音に生きるとは、問われるのは、頑張りや立派な姿ではありません。自らが、赦しと癒やしを必要とした罪人であることを認め、キリストに頼って生きることです。パウロは自らを「罪人のかしら(1テモテ1:15)」と呼びました。パウロは自らの罪深さを知ると共に、赦しの恵みも知りました。その姿がオネシモに語りかけたのです。(泰)

10月1日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 戸梶 姉 高橋美姉

前 奏

招 詞 詩篇32篇8節

会衆賛美 35

会衆賛美 大いなる方に

主の祈り

交 読 詩篇51篇10〜17節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 ビレモンへの手紙 8〜20節

説 教

和解の福音に生きる 荻野泰弘牧師

会衆賛美

聖歌614

献 金

頌 栄 聖歌376

祝 祷

報告

感謝祈禱 奏樂

日本伝道会議参加報告

【招 詞(主の招きのことば)】

詩篇32章8節

「私は あなたが行く道で あなたを教え あなたを論(さと)そう。あなたに目を留め 助言を与えよう。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後

■小学科ホザナ礼拝 3階 11時

■バイブルカフェ お休み

■オリーブ会 例会
3階 第2礼拝後

※荻野牧師 東京育成園奉仕(夕方)

【礼拝奉仕者の服装について】

残暑が厳しい日が続いています。10月は移行期間とし、夏同様に上着・ネクタイの着用はなくても可とします。

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

受付 司会者

配信 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読

献金1階

1階

2階

献金祈禱

報告 司会者

会場 荻野牧師

受付

【次週の礼拝説教】

〔説教者〕 田中師

〔聖書箇所〕 詩篇1篇1〜6節

〔説教題〕 「流れのほとりに

植えられた木」

■第7回日本伝道会議 参加報告

■召天者記念礼拝・墓地礼拝 報告

例年7月に行っていました。近年の厳しい暑さから開催時期を変更し、今年9月末に行いました。幸いに当日は天候も落ち着き、特に墓地礼拝は過ごしやすい陽気でした。

召天者記念礼拝には、第1礼拝24名と第2礼拝44名の出席。午後の墓地礼拝には77名が出席でした。

今年召天者記念礼拝で飾った写真が9名、墓地礼拝での納骨は7名と、いつもと比べてとても多く、地上の別れの寂しさを覚えました。

一方で、多くの関係者が出席され、共に天国への望みを新たにしました。特に久しぶりに来られた方を囲んでの「同窓会」も見られ、主が慰めの場を備えてくださっていることを覚えて感謝です。

私たちは誰もがいつかは死に直面します。人間の力では決して越えることができない死に対して、主は永遠のいのちを与え、希望を見せてくださいます。主に「召される」その日を望みつつ、今を生きましよう。

【お知らせ】

■宣教礼拝(午後は「宣教報告会」)

日程 10月22日(日)

講師 平瀬義樹師

インマヌエル綜合伝道団

武蔵村山キリスト教会 主任牧師

元 インマヌエル

台中キリスト教会 宣教師

一昨年に帰国するまで、20年にわたり台湾で宣教師として奉仕をされました。荻野牧師の神学院時代の先輩にあたり、家族ぐるみでお付き合いをいただいています。

■児童祝福式

来月11月12日(日)に予定しています。ご希望の方は管理部または牧師までお申し出ください。

■海外へ送るクリスマスカードに

サインのご協力をお願いします。

毎年恒例、宣教師と支援している子どもたち(チャイルド・スポンサー)にクリスマスカードを送ります。寄せ書きのサインに協力ください。祈りの思いを届けましよう。近日中に実施します。